

社会資本総合整備計画（広域連携事業） 事後評価書

令和3年3月

計画の名称	中国山地の豊かな自然を活かした広域観光活性化計画																
計画・交付期間	平成26年度～平成30年度（5年間）					交付対象	岡山県（鳥取県と連携）										
計画の目標 広域的特定活動	中国山地の豊かな自然と、歴史文化施設や温泉地などの観光拠点を有する岡山県と鳥取県が連携し、中国横断自動車道（岡山米子線）、中国縦貫自動車道、平成24年度全線開通した鳥取自動車道及び現在整備が進んでいる地域高規格道路北条湯原道路を軸として、観光拠点へのアクセス性を向上させ、広く圏域外からの来訪者の増加を図るとともに、山陰と山陽を結ぶ広域的な観光エリアとしての魅力を高め、観光入込客の増加など地域の活性化を図る。また、鳥取・岡山広域観光ドライブマップの作成、S・A・道の駅などへの配架や、両県の観光スポットを巡るお勧めドライブルートのポータルサイト上での提案など、ドライブ旅行者を意識した情報発信を重点的に展開していく。また、高梁川流域連携中枢都市圏における観光地アクセスを向上することにより、観光振興による都市圏形成を促進する。																
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> ・【鳥取県・岡山県 共通目標】 観光入込客数5%（23.4万人）増加（拠点施設来場者数のH22～24年平均値比） ・【岡山県 単独目標】 湯郷温泉入湯税による入浴者数6%（1.2万人）増加（H22～24年平均値比） ・高梁川流域連携中枢都市圏における観光入込客数6%（1.7万人）増加（拠点施設来場者数のH22～24年平均値比） 																
定量的指標の定義及び考え方									定量的指標の現況値及び目標値			評価の実施予定					
									当初現況値 (H22～24年平均値)	中間目標値 (H27末)	最終目標値 (H30末)						
	【岡山県・鳥取県 共通目標】 観光入込客数5%（23.4万人）増加 (観光客の増加割合) = (評価時点の観光客数 - 平成22～24年の年間観光客数平均値) / (平成22～24年の年間観光客数平均値) ※評価時点の観光客数 = 平成26～27年の年間観光客数平均値（中間目標）、平成26～30年の年間観光客数平均値（最終目標）								【468.1万人】	2%増 (11.5万人増)	5%増 (23.4万人増)	【491.5万人】					
	【岡山県 単独目標】 湯郷温泉入湯税による入浴者数6%（1.2万人）増加 (湯郷温泉入湯税による入浴者数増加割合) = (評価時点の入浴者数 - 平成22～24年の年間数平均値) / (平成22～24年の年間数平均値) ※評価時点の入浴者数 = 平成26～27年の年間数平均値（中間目標）、平成26～30年の年間数平均値（最終目標）								【19.9万人】	3%増 (0.6万人増)	6%増 (1.2万人増)	【21.1万人】					
	高梁川流域連携中枢都市圏における観光入込客数6%（1.7万人）増加 (観光客の増加割合) = (評価時点の観光客数 - 平成22～24年の年間観光客数平均値) / (平成22～24年の年間観光客数平均値) ※評価時点の観光客数 = 平成26～27年の年間観光客数平均値（中間目標）、平成26～30年の年間観光客数平均値（最終目標）								【28.2万人】	3%増 (0.8万人増)	6%増 (1.7万人増)	【29.9万人】					
全体事業費	合計 (A+B+C)	2,810百万円	A	2,800百万円	B	0百万円	C	10百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)		0.36%						
事後評価																	
○事後評価の実施体制、実施時期																	
事後評価の実施体制						事後評価の実施時期											
整備計画構成自治体・団体 (鳥取県、岡山県)						令和3年3月 公表の方法 岡山県ホームページ											
1. 交付対象事業の進捗状況																	
交付対象事業																	
A1 道路事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
											H26	H27	H28	H29	H30		
1-A1-1	道路	一般	岡山県	直接	-	県道	改築	(主) 長屋賀陽線 田津工区	バイパス L=1.00km	新見市						20	連携中枢都市圏
1-A1-2	道路	一般	岡山県	直接	-	県道	改築	(主) 北房川上線 赤馬工区	現道拡幅 L=1.10km	新見市						35	連携中枢都市圏
1-A1-3	道路	一般	岡山県	直接	-	県道	改築	(主) 新見川上線 矢戸工区	現道拡幅 L=1.20km	新見市						349	連携中枢都市圏
1-A1-4	道路	一般	岡山県	直接	-	県道	改築	(主) 新見日南線 足立工区	現道拡幅 L=0.46km	新見市						53	連携中枢都市圏
1-A1-5	道路	一般	岡山県	直接	-	県道	改築	(一) 西一宮中北上線 下田邑工区	バイパス L=1.55km	津山市						221	
1-A1-6	道路	一般	岡山県	直接	-	県道	改築	(一) 三浦勝北線 市場工区	現道拡幅 L=1.03km	津山市						5	
1-A1-7	道路	一般	岡山県	直接	-	県道	改築	(一) 工門勝央線 安井工区	現道拡幅 L=0.52km	津山市						100	
1-A1-8	道路	一般	岡山県	直接	-	県道	改築	(主) 鏡野久世線 中谷工区	現道拡幅 L=0.62km	鏡野町						79	
1-A1-9	道路	一般	岡山県	直接	-	県道	改築	(一) 安井津山線 宮山工区	現道拡幅 L=1.20km	美咲町						267	
1-A1-10	道路	一般	岡山県	直接	-	県道	改築	(一) 阿口上線 上工区	現道拡幅 L=0.24km	真庭市						70	
1-A1-11	道路	一般	岡山県	直接	-	県道	改築	(主) 鏡野久世線 余野上工区	現道拡幅 L=0.24km	真庭市						87	
1-A1-12	道路	一般	岡山県	直接	-	県道	改築	(一) 目木大庭線 大庭工区	バイパス L=1.54km	真庭市						340	
1-A1-13	道路	一般	岡山県	直接	-	県道	改築	(一) 蒜山高原線 上長田工区	現道拡幅 L=0.50km	真庭市						6	
1-A1-14	道路	一般	岡山県	直接	-	県道	改築	(一) 東茅部下福田線 東茅部工区	現道拡幅 L=0.43km	真庭市						35	
1-A1-15	道路	一般	岡山県	直接	-	県道	改築	(主) 勝央勝北線 平工区	現道拡幅 L=0.12km	勝央町						125	
1-A1-16	道路	一般	岡山県	直接	-	県道	改築	(一) 行方勝田線 西原工区	バイパス L=0.44km	奈義町						156	
1-A1-17	道路	一般	岡山県	直接	-	県道	改築	(主) 久米建部線 宮尾工区	現道拡幅 L=0.54km	津山市						702	
1-A1-18	道路	一般	岡山県	直接	-	県道	改築	(国) 482号 上徳山工区	現道拡幅 L=0.30km	真庭市						150	
											合計	2,800					

B 関連社会資本整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H26	H27	H28	H29	H30		
合計																

番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考
----	----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H26	H27	H28	H29	H30		
1-C-1	ソフト	一般	岡山県	直接	—	—	鳥取・岡山広域観光連携事業	観光PR、観光パンフ作成、SA・PA等での観光プロモーション	—						10	鳥取県と連携 連携中核都市 圏
合計											10					

番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考
1-C-1	各拠点施設へのアクセス道整備である広域連携事業(1-A1-1～17)と一体となって広域観光PR事業や共同プロモーション事業を実施することにより、各観光地の情報発信とその魅力を伝え、観光客の増加を図る。															

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<p>交付金対象事業の整備により交通アクセスが向上し、定量的指標①の観光入込客数は平成29年までは増加傾向であり、事業の効果は発現していた。平成30年は豪雨災害の影響により観光入込客数が減少した。 (参考) 岡山県：H26～H29平均値 360.3万人(2.8%増) 鳥取県との合算：H26～H29平均値 473.0万人(1.0%増)</p>														
--------------------------------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

II 定量的指標の達成状況	指標①(観光入込客数の増加割合)	最終目標値(H30末)	5%増 (24万人増) (492万人)	目標値と実績値に差が出た要因	平成30年豪雨災害によるもの 中間評価時点の実績は497.1万人で目標の+2.0%を上回る2.3%増であったが、事後評価時では自然現象に起因する以下の個別事情による影響が一因となって、目標達成に至らなかった。 ・H30年7月発生の豪雨災害により、観光拠点の集客数が減少した。 ・スキー場における積雪不足が影響で客数が減少した。
	指標②(湯郷温泉入湯税による入浴者数の増代割合)	最終目標値(H30末)	6%増 (1.2万人増) (21万人)	目標値と実績値に差が出た要因	平成30年豪雨災害によるもの 中間評価時点の実績は21.1万人で目標の+3.0%を上回る6.0%増であったが、事後評価時では以下の個別事情による影響が一因となって、目標達成に至らなかった。 ・H30年7月発生の豪雨災害により、観光拠点の集客数が減少した。
		最終実績値(H30末)	5.0%減 (1万人減) (19万人)		
	指標③(高梁川流域連携中核都市圏における観光入込客数の増加割合)	最終目標値(H30末)	6%増 (1.7万人増) (30万人)	目標値と実績値に差が出た要因	平成30年豪雨災害によるもの 中間評価時点の実績は28.9万人で目標の+3.0%をやや下回る2.5%増であったが、事後評価時では以下の個別事情による影響が一因となって、目標達成に至らなかった。 ・H30年7月発生の豪雨災害により、観光拠点の集客数が減少した。
		最終実績値(H30末)	7.1%減 (2万人減) (26万人)		

III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)	本計画で道路事業として整備した県道新見日南線は生活道路でもあるが、幅員狭小ですれ違いが困難な箇所が解消され、安全性が向上した。														
--	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

3. 特記事項(今後の方針等)

本計画の完了により、平成30年豪雨災害等の個別事情による影響を除けば観光入込客数は増加しており、一定の事業効果が確認できる。また、岡山県内のその他の観光地と比較すると、本計画の拠点施設の方が観光入込客数の回復が早い。当該広域連携事業における影響もその一因であると推察されるが、災害からの復旧がまだ完全ではないため、今後その状況を注視して事業効果の発現を見極める必要がある。